

船が函館につく頃になると、静かに雨が降り出して、私達の北海道の第一歩はこうして雨と寒さに始まったのである。

## 函館 → 札幌

大食 3

今にも泣き出しそうな空をにらんで宿舎「新松」を出発。まず、トラピスト修道院へ。背のびをして中をのぞいては見るが、いつこうに人の気配はない。その辺をキヨロキヨロのぞき回って、やたらに写真をパチパチ撮って、貧しいピンクのあかしの花を見てバスに。

それから五稜郭公園。霧雨と風のため寒い寒い。大きすぎて五稜なんてわからなかつた。わずかに大砲と石垣とでそれをしのいで終り。

次は函館山。こゝも又雨と霧のため何も見えない。様々の木の繁つた山道と、中腹での眺めだけ見て下山した。誰やらの銅像とか市街地を回って駅前で下車。時間待ちのため思い思い街へ散る。|=森屋（ボウニモリヤ）デパートの下着売場は時ならぬ冬もの下着の買物客でごつたがえす。どこかで見たとような顔がいつぱい。

特別列車に割り込ませてもらって札幌に向う。歌って、遊んで、食べてすっかり疲れた頃札幌に着いた。駅前から宿舎へのバスに玉川学園の男の子がまちがえて飛びこんできた。それも三人も四人も。バスの中の大学のオバチャン達に面くらってキヨロキヨロ。宿はユースホテル。夜はみんなと街に出たが何の変てつもない。ただ寒いだけ。元気いつぱい、ノースリーブでかつ歩した。ラーメンを食べそこなつて、コーヒー飲んで帰つた。